

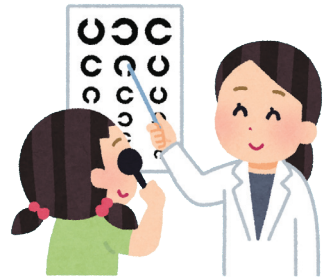
## 視力検査について ～目を細めて見てはいけないのはなぜ？～

視能訓練士

いたや  
板谷  
まりこ  
麻理子

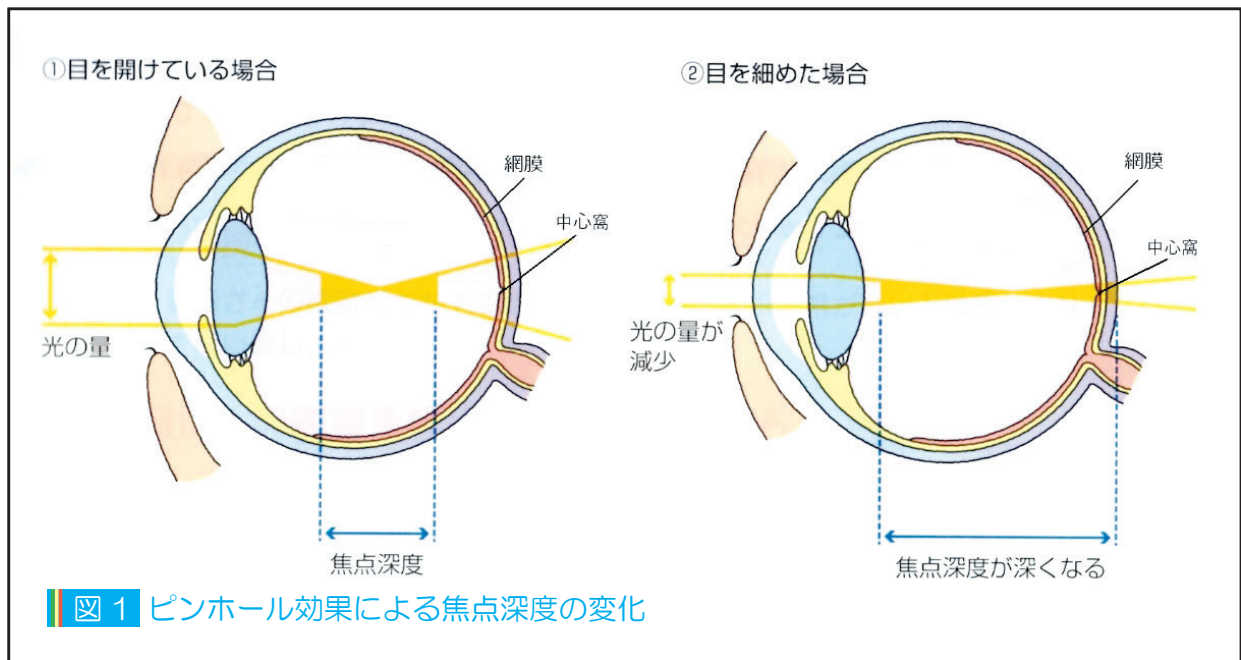
視力検査は眼科を訪れる患者さんのほとんどが受ける大切な検査の一つです。視力検査中「目を細めないで見て下さい」と言われた事があると思いますがそれはなぜでしょう？

人は物を見る時、網膜の中心窩に焦点（ピント）が合うと鮮明に見えますが、焦点の位置が中心窩から前後にずれるとぼやけて見えます。しかし、焦点の位置が中心窩の前後でもぼやけを自覚しない範囲があります。この範囲を「焦点深度」といいます。この焦点深度と深く関係しているのが瞳孔径（黒目の大きさ）です。



瞳孔径が変化することで目に入る光の量が調節されます。瞳孔径が小さくなると目に入る光の量が減少して、焦点深度が深くなり鮮明に見えます。その結果視力は本来より良くなります。この事を「ピンホール効果」といいます。

視力検査の時、目を細めて視力表を見ると上下の瞼の幅が狭くなり、瞳孔径よりも小さい幅になることがあります。その結果光の量が減少して焦点深度が深くなり、ピンホール効果と同様に視力は良く出ます。（図1）これはその人の本来の視力ではありません。ご自分の正しい視力で治療を受けるために、視力検査の時は目を細めないように気をつけましょう。

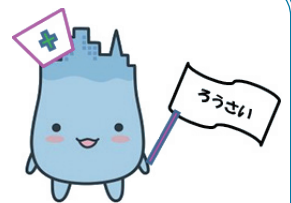


富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2月1日～2月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「頭痛で注意することは・・・」 脳神経外科 得田 副院長



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



富山ろうさい病院ホームページからもご覧いただけますのでチェックしてください！